

人扱の店携提 無料の回数制限

コンビニの現金目録を相互に無料としたのをきっかけに、それまで無料だったローソンやam d mでのATM手数料を有料化した。夜間や日祝日も引き出せる利便性の高さに着目した西日本シティ銀行(福岡市)は、提携先のコンビニ店を拡大。一方、顧客の利用回数に応じて設置者側に支払うコストを軽減しようと、福岡銀行(同)は3月、一部顧客向けの手数料無料サービスに回数制限を設けた。

西シ銀は2009年2月、九州の地銀9行との間で銀行ATMの手数料を相互に無料としたのをきっかけに、それまで無料だったローソンやam d mでのATM手数料を有料化した。夜間や日祝日も引き出せる利便性の高さに着目した西日本シティ銀行(福岡市)は、提携先のコンビニ店を拡大。一方、顧客の利用回数に応じて設置者側に支払うコストを軽減しようと、福岡銀行(同)は3月、一部顧客向けの手数料無料サービスに回数制限を設けた。

ただ、夜間を中心にコンビニATMの需要は高まっており、有料化を維持しつつ、12年5月からATMを展開するセブン銀行での取り扱いを開始。今後、ファミリーマートやミニストップでもサービスを提供する方針で、ATMの総取扱量に占めるコンビニの割合は今後も増加するとみられる。

福岡銀行は、一定の取

板床会頭が続投へ

大牟田商議所

大牟田商工会議所(福岡県大牟田市)の板床定男会頭(76)は11日、西日新新聞の取材に対し「会員企業のご支持を得られ、海外市場に目を向けて、生き延びる戦略と」

大牟田駅前にある福岡銀行大牟田支店の建物に移転を予定。板床氏は「長年の懸念が動きだし、中心市街地の再開発など重要課題が山積している。今後も全力で職務に取り組みたい」と述べた。

(吉塚哲)

板床 定男氏(いたどこ・さだお)79年寿海運社長。大牟田商議所副会頭を経て04年11月から現職。76歳。長崎県南島原市出身。

九州1号店あすオープン

イオンモール福岡

米アパレルチェーン大手、Gapグループの低価格ブランド「Old Navy」の九州1号店が13日、福岡県粕屋町のイオンモール福岡にオープンする。11日に報道陣向けに内覧会があった。Old Navyは2012年7月より低価格で入った力強いターゲットが多いのが特徴。11日に報道陣向けに内覧会があった。Old Navyは2012年7月より低価格で入った力強いターゲットが多いのが特徴。

九州の幸 香港に集結

来年、官民で大規模商談会 会場はホテル日航香港。出展希望者を今月27日まで受け付ける。出展産物グループと1日までの交渉を今月27日まで受け付ける。出展産物グループと1日までの交渉を今月27日まで受け付ける。出展産物グループと1日までの交渉を今月27日まで受け付ける。

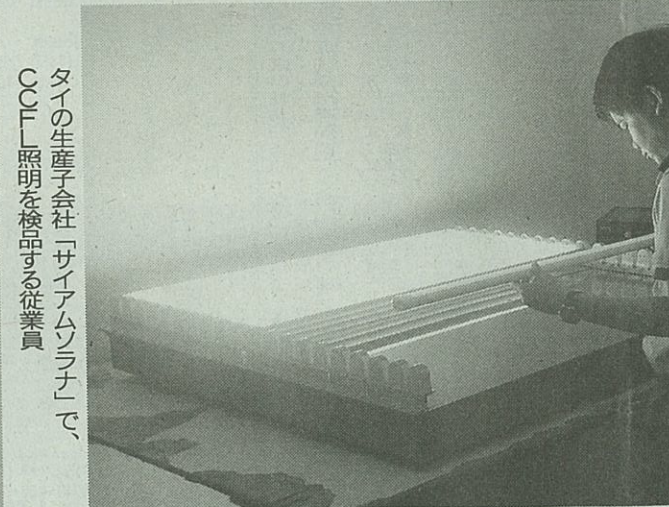
わが社のアジア戦略

倉光社長がタイの日系企業を視察したの2年ほど前。この企業は、中国製LEDダイオード(LED)照明の導入テストをしていた。だが、照明の一部は切れている。聞けば、持ったのはわずか1週間。別の会社は、数本を切らしたまま仕事を続けていた。

「日本では出荷できないレベルの中国製が数多く出回っていた。いい印刷も相次ぎ、次第に価値はどこにもない。倉光社長は、ビジネスチャンスを見いだした。

豊光社は、2010年に冷陰極蛍光管(CCF)照明を共同開発し発売。液晶画面のバックライト光源に使われるCCFLを照明に応用した自社商品「ソラナ」は従来の蛍光灯に比べ、寿命は3〜6倍の4万時間、消費電力は45〜25%少ない。

LED照明と同じくLED商品のソラナは、東日本震災後の節電意識の高まりで累計出荷が10万本を超えるヒット商品となった。ただ、省エネ型照明市場への他社参入も相次ぎ、次第に価値はどこにもない。倉光社長は、ビジネスチャンスを見いだした。



タイの生産子会社「サイアムソラナ」で、CCFL照明を製品する従業員

12年11月、80%出資の生産子会社「サイアムソラナ」をタイの首都バンコクに設立した。前年に起きた大洪水で予定より遅れたが、既に3万本を受注し生産を開始。ベトナムなど周辺国への販路拡大も視野に入れている。

当初は中国や韓国での生産拠点も考えた。商品を持って乗り込み、プレゼンテーションまでしていた。しかし、「約束はほごにされ、商品もコピーされた。とても信頼関係を結べない」と(倉光社長)と決断した。

タイは、省エネ設備への投資に積極的な日系企業も多い。さらに「街を歩く市民の表情が明るく、パワーがみなぎっていた。肌で感じた景況感も進出を後押しした。工場建設が続くタイでは電力不足の懸念が広がっており、倉光社長は「CCFLブームを起した」と意気込む。その実績をひきつけて日本での競争も勝ち抜く。

(原田克美)

九州経済

ファクス 092(711)6249 メール keizai@nishinippon.co.jp

★イオン全店が11月からレジ袋の無料配布廃止

イオンは11日、九州の総合スーパー「イオン」全店の食品フロアで11月からレジ袋の無料配布をやめると発表した。レジ袋は有料となる。同社は2007年、大手スーパーでは先駆的な試みとして無料配布取りやめを開始。九州でも熊本、大分の11店舗で実施していた。マイバッグ持参率が80%になる効果が判明。九州の残る5県33店舗を含め全国の全475店舗で取りやめる。福岡、佐賀の「イオンスーパーセンター」でも中止する。有料レジ袋は、Lが1枚5円、Iが1枚3円。マイバッグ持参で買い物代金から2円引くサービスもやめる。

★スタバの新商品試飲会

JR博多シティで開催

スターバックスコーヒージャパン(東京)は28日、福岡市博多区のJR博多シティ3階センターコートで、日本限定となる新商品3種の試飲イベントを開催する。試飲できるのは、いずれも10月1日に発売する。ドリップコーヒー「スターバックスオリガミ」など。イベント会場では、コーヒー専門家として社内試験で認められたプロックエプロン・パリスターによる、家庭でのおいしいコーヒーの入れ方セミナー(10分程度、無料)もある。試飲イベントは午前11時〜午後1時半、午後2時半〜同5時の計2回。

★福岡で産野菜商談会

流通業者らの来場募集

独立行政法人農畜産業振興機構は、10月31日に福岡市博多区の福岡国際会議場で開く「産野菜の契約取引マッチング・フェア in 福岡」の来場者を募集している。対象は流通・外食・ホテル業者、調理師、生産者などで一般の入場は不可。参加無料。

九州で開催されるのは初めて。通算21回目の今回は、九州を中心に過去最多125の生産者団体、加工業者、種苗会社、研究機関などが出展。展示・商談会のほか、セミナーや討論会もある。前日まで「ファクスかメールで申し込む。問い合わせは同機構03(3)5500(3)9817。

有田焼技術幅広く応用

江戸時代発祥の有田焼窯元を母体とする総合磁器メーカー。摩耗や酸に強い磁器の特性を応用した化学プラント用レンガや水処理用セラミック管などの事業を軸に、壁面材からタイヤまで幅広く手がけ、「世の中に(わが社の)製品があふれている」と胸を張る。

長年、サントリウウイスキーの記念ボトルを製作。今年、大阪市にオープンした複合施設「サン

トリウウイスキーハウスのには、このうち十数本が展示された。気密性や容量の均一性など、高い技術が必要で「数百年前から酒瓶を作っていた技術が、今につながっている」と感慨にふける。

有田焼は2016年に創業400年を迎える。「伝統を守りつつ、新事業を拡大する」と次の100年を見据える。

主要通貨	11日
(対顧客電信売り相場) 単位:円	
米ドル	101.32
カナダドル	98.58
EUユーロ	134.61
英ポンド	161.84
スイスフラン	108.25
豪ドル	95.39
NZドル	82.86
シンガポールドル	80.03
タイバーツ	3.21
香港ドル	13.37
韓国ウォン	9.45
インドネシア100ルピア	1.02
フィリピン比ソ	2.45
インドネシア100ルピア	1.73
イメキシコペソ	1.45
南アフリカランド	8.68
台湾元	11.34
台湾元	3.38
ロシアルーブル	16.71
アラブドバイディルハム	3.30
マレーシアリンギット	30.72
ブラジルレアル	45.53

三愛東京UFJ銀行の電信売り相場、ルピアは参考相場。中国元は参考銀行の電信売り相場、台湾元、リンギットは参考相場。レアルはリアル銀行。